



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月6日

上場会社名 株式会社デイトナ 上場取引所 東
 コード番号 7228 URL https://www.daytona.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 織田 哲司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 杉村 靖彦 (TEL) 0538 (84) 2200
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	4,318	4.0	381	23.7	384	22.7	248	23.0
2019年12月期第2四半期	4,153	4.9	308	27.9	313	26.1	201	22.5

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 247百万円(22.3%) 2019年12月期第2四半期 202百万円(24.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	105.98	101.67
2019年12月期第2四半期	86.16	83.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	7,265	3,644	49.4
2019年12月期	6,761	3,450	50.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 3,588百万円 2019年12月期 3,399百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2020年12月期	—	0.00			
2020年12月期(予想)			—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,873	3.1	691	0.6	714	1.3	485	6.0	207.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期2Q	3,604,600株	2019年12月期	3,604,600株
2020年12月期2Q	1,260,672株	2019年12月期	1,260,672株
2020年12月期2Q	2,343,928株	2019年12月期2Q	2,344,003株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する根拠のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛要請や企業等の営業自粛が経済活動を圧迫し、景況感は大変厳しい状況となりました。また、海外経済においても全世界レベルでの新型コロナウイルス感染症拡大が経済への大きな打撃を与える状況となりました。

二輪車業界においても、春先からの本格的バイクツーリングシーズンを迎える中、4月には緊急事態宣言による外出自粛等が影響し需要が大きく減少しました。しかし、緊急事態宣言解除後は、特別定額給付金、キャッシュレス決済の還元などの経済政策が二輪車業界には追い風となり、また、「3密」を回避できる趣味としてのバイクライフや通勤手段としてのバイクの活用、それに伴うメンテナンスニーズが高まってまいりました。

当社グループにおいても、4月には一時的に新型コロナウイルス感染症拡大による売上減少が生じたものの、5月以降からは前述したバイクニーズの高まりにより、売上が回復し、結果、第2四半期累計期間としては当初の予定通りの売上推移となりました。利益に関しても、自粛活動による営業費用の減少等により、国内拠点卸売事業、その他事業ともに前年同四半期を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は43億18百万円（前年同四半期比4.0%増）、営業利益は3億81百万円（前年同四半期比23.7%増）、経常利益は3億84百万円（前年同四半期比22.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億48百万円（前年同四半期比23.0%増）となりました。

[国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業は、㈱デイトナおよび㈱ダートフリークの卸売事業をセグメントしております。

㈱デイトナでは、4月には新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の影響で売上高が大きく減少しましたが、5月以降は売上が急回復し、好調が続くツーリングバッグ、インカム、スマホマウント等のツーリング用品に加え、外出自粛によるバイクメンテナンスニーズに応えた関連商品、公共交通機関に代わる「3密」を回避する手段としての電動アシスト自転車为好調に推移しました。また、㈱ダートフリークは後述のとおり、当四半期累計期間は前年10月から当年3月までの経営成績を連結しておりますが、中国の協力工場からの仕入れが新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、春節明けも生産減少や供給遅延が大きく、売上、営業利益ともに前年同四半期を下回りました。この結果、国内拠点卸売事業全体では、売上高は32億40百万円（前年同四半期比3.2%増）、セグメント利益は3億36百万円（前年同四半期比28.6%増）となりました。

㈱デイトナが12月末決算であるのに対し㈱ダートフリークは9月末決算であるため、当第2四半期連結累計期間においては、㈱ダートフリークの前年10月から当年3月までの経営成績を連結しております。

[アジア拠点卸売事業]

アジア拠点卸売事業では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、インドネシア各地で都市封鎖が始まるなど、本格的な感染症対策が行われ、経済活動にも大きな影響が出る状況となりました。当社も4月には日本人従業員を帰国させ、現地従業員や取引先とはWeb会議などインターネット回線を利用したコミュニケーションを取るなど対策を実施しました。営業面においては、第1四半期に続き、依然インドネシア市場を拠点とする販売先パートナーへの補修・消耗品の販売が鈍化したことや新型コロナウイルスの影響により、売上高は22百万円（前年同四半期比64.5%減）、セグメント損失は14百万円（前年同四半期はセグメント損失13百万円）となりました。

[小売事業]

小売事業は、バイク用部品用品小売店舗等を展開する㈱ライダーズ・サポート・カンパニーと㈱ダートフリークの小売部門をセグメントしております。

㈱ライダーズ・サポート・カンパニーでは、ライコランドFC事業においては、特別定額給付金の影響もあり、販売単価の高いヘルメットやインカム、スペシャルパーツ等の高額商品の伸長やダイレクトメールによる販促施策により、またアップガレージライダーズFC事業においては、利益率の高い中古バイク部品が売上を伸ばしたことにより、売上高と営業利益ともに前年同四半期を上回りました。一方、㈱ダートフリーク小売部門では、第1四半期に引き続き、決済セキュリティの安全を確保するまでの間、クレジットカード決済を停止し代引き決済によっておりますが、そうした影響等により前年同四半期を下回る売上高となりました。結果、小売事業

全体での売上高は10億33百万円（前年同四半期比2.9%増）、セグメント利益は43百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

なお、㈱ライダーズ・サポート・カンパニーが12月末決算であるのに対し㈱ダートフリークは9月末決算であるため、当第2四半期連結累計期間においては、㈱ダートフリークの前年10月から当年3月までの経営成績を連結しております。

[その他]

その他事業の太陽光発電事業は、前年8月に新たに稼働を開始した愛知県設楽町の太陽光発電設備による売電収益の増加により、前年同四半期を上回る売上高となりましたが、同太陽光発電設備の減価償却費が増加したことにより、利益面は前年同四半期と同様となりました。一方でリユースWEB事業では、利益面での黒字化には至らなかったものの、第1四半期に引き続き中古部品販売売上が前年同四半期を大きく上回りました。手数料売上に関してはアプリのダウンロード数とアクティブユーザーの獲得を主軸に引き続き先行投資を続けております。この結果、その他事業での売上高は86百万円（前年同四半期比39.2%増）、セグメント利益は8百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ13.6%増加し、47億19百万円となりました。これは、現金及び預金が1億49百万円、受取手形及び売掛金が2億21百万円、たな卸資産が1億59百万円増加したことなどによります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2.3%減少し、25億45百万円となりました。これは、有形固定資産が25百万円、無形固定資産が32百万円減少したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ5億3百万円増加し、72億65百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ17.7%増加し、27億83百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1億44百万円、短期借入金が2億51百万円増加したことなどによります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ11.5%減少し、8億37百万円となりました。これは、長期借入金が1億20百万円減少したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億9百万円増加し、36億20百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5.6%増加し、36億44百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期業績予想につきましては、2020年2月13日に公表いたしました決算短信の業績予想から変更ありません。新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響は、現在のところ軽微であります。第3四半期以降の状況は不透明であるため、今後の動向および影響については継続して注視し、必要に応じて業績予想の修正を検討してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	760,222	910,204
受取手形及び売掛金	771,365	992,491
たな卸資産	2,357,195	2,516,995
その他	273,637	307,690
貸倒引当金	△7,355	△7,438
流動資産合計	4,155,066	4,719,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	549,199	533,672
土地	863,532	863,275
その他(純額)	483,535	473,651
有形固定資産合計	1,896,268	1,870,599
無形固定資産		
のれん	520,430	487,903
その他	41,395	41,898
無形固定資産合計	561,826	529,802
投資その他の資産		
その他	151,846	148,710
貸倒引当金	△3,111	△3,323
投資その他の資産合計	148,735	145,386
固定資産合計	2,606,829	2,545,788
資産合計	6,761,896	7,265,732

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	269,590	413,805
短期借入金	1,619,579	1,871,557
未払法人税等	121,531	140,285
賞与引当金	51,408	45,393
株主優待引当金	—	695
その他	304,100	312,208
流動負債合計	2,366,210	2,783,946
固定負債		
長期借入金	911,750	791,569
退職給付に係る負債	1,075	1,111
その他	32,799	44,369
固定負債合計	945,624	837,050
負債合計	3,311,834	3,620,996
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,456	412,456
資本剰余金	485,338	483,465
利益剰余金	3,151,457	3,343,620
自己株式	△628,823	△628,823
株主資本合計	3,420,428	3,610,718
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△21,180	△22,391
その他の包括利益累計額合計	△21,180	△22,391
新株予約権	50,719	56,376
非支配株主持分	94	32
純資産合計	3,450,062	3,644,735
負債純資産合計	6,761,896	7,265,732

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,153,786	4,318,837
売上原価	2,425,902	2,481,213
売上総利益	1,727,884	1,837,624
販売費及び一般管理費	1,419,765	1,456,543
営業利益	308,119	381,081
営業外収益		
受取手数料	5,136	5,548
補助金収入	1,101	4,570
試作品等売却代	4,907	2,062
その他	6,871	4,918
営業外収益合計	18,017	17,099
営業外費用		
支払利息	7,801	7,192
デリバティブ評価損	—	4,200
為替差損	4,470	1,489
その他	224	441
営業外費用合計	12,495	13,324
経常利益	313,640	384,856
特別利益		
固定資産売却益	—	2,147
特別利益合計	—	2,147
特別損失		
固定資産除却損	146	843
特別損失合計	146	843
税金等調整前四半期純利益	313,494	386,160
法人税、住民税及び事業税	102,905	133,448
法人税等調整額	8,648	4,351
法人税等合計	111,553	137,799
四半期純利益	201,940	248,360
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△31	△56
親会社株主に帰属する四半期純利益	201,972	248,417

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	201,940	248,360
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	101	△1,216
その他の包括利益合計	101	△1,216
四半期包括利益	202,041	247,144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	202,073	247,206
非支配株主に係る四半期包括利益	△31	△61

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	313,494	386,160
減価償却費	68,504	73,658
株式報酬費用	6,608	5,656
のれん償却額	32,526	32,526
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△185	295
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,431	△6,014
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	80	75
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	695
受取利息及び受取配当金	△166	△125
支払利息	7,801	7,192
デリバティブ評価損益(△は益)	△1,392	4,200
為替差損益(△は益)	47	358
売上債権の増減額(△は増加)	△10,833	△221,466
たな卸資産の増減額(△は増加)	△370,236	△160,032
仕入債務の増減額(△は減少)	130,477	144,636
固定資産除売却損益(△は益)	146	△1,303
未払消費税等の増減額(△は減少)	△42,300	2,608
未収消費税等の増減額(△は増加)	△857	△1,376
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△10,008	△33,176
その他の流動負債の増減額(△は減少)	7,920	9,771
その他の固定資産の増減額(△は増加)	2,820	30
その他の固定負債の増減額(△は減少)	—	△1,200
その他	439	475
小計	131,453	243,648
利息及び配当金の受取額	167	125
利息の支払額	△8,006	△7,339
法人税等の支払額	△155,574	△114,340
営業活動によるキャッシュ・フロー	△31,960	122,094
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△46,304	△10,703
定期預金の払戻による収入	38,402	2,400
有形固定資産の取得による支出	△151,417	△32,735
有形固定資産の売却による収入	—	2,769
無形固定資産の取得による支出	△1,917	△9,365
貸付けによる支出	△65	—
差入保証金の差入による支出	△104	△1,291
差入保証金の回収による収入	157	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△161,249	△48,915
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	558,716	249,156
長期借入れによる収入	50,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△219,519	△217,645
リース債務の返済による支出	△3,774	△4,429
自己株式の取得による支出	△26	—
配当金の支払額	△39,852	△56,156
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△1,873
財務活動によるキャッシュ・フロー	345,543	69,051
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△552

現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	152,329	141,678
現金及び現金同等物の期首残高	548,145	616,204
現金及び現金同等物の四半期末残高	700,475	757,883

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月26日 定時株主総会	普通株式	39,848	17.0	2018年12月31日	2019年3月27日	利益剰余金

- 2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月24日 定時株主総会	普通株式	56,254	24.0	2019年12月31日	2020年3月25日	利益剰余金

- 2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,024,381	63,307	1,004,060	4,091,750	62,036	4,153,786	—	4,153,786
セグメント間の内部 売上高又は振替高	115,091	—	88	115,179	—	115,179	△115,179	—
計	3,139,472	63,307	1,004,149	4,206,930	62,036	4,268,966	△115,179	4,153,786
セグメント利益又は損失 (△)	261,576	△13,102	43,979	292,452	7,926	300,379	7,739	308,119

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユースWEB事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額7,739千円は、セグメント間取引消去6,984千円、たな卸資産の調整額377千円、固定資産の調整額378千円等が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,176,356	22,489	1,033,610	4,232,456	86,380	4,318,837	—	4,318,837
セグメント間の内部 売上高又は振替高	63,932	—	57	63,990	—	63,990	△63,990	—
計	3,240,289	22,489	1,033,667	4,296,446	86,380	4,382,827	△63,990	4,318,837
セグメント利益又は損失 (△)	336,327	△14,934	43,709	365,103	8,096	373,200	7,880	381,081

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユースWEB事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額7,880千円は、セグメント間取引消去9,092千円、たな卸資産の調整額△1,486千円、固定資産の調整額275千円等が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。